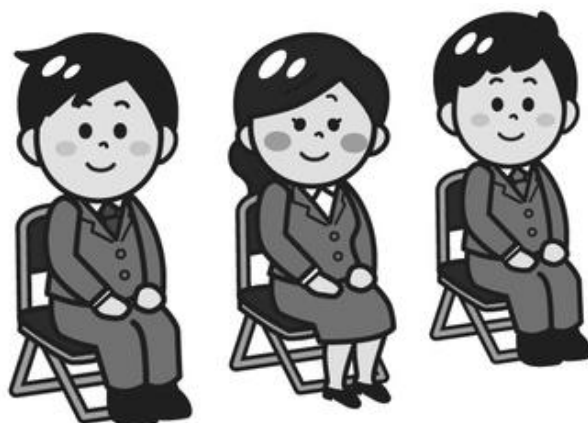
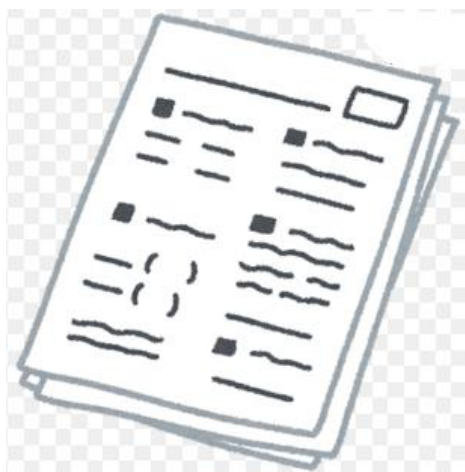


面接練習に向けて

第4回テスト（学年末テスト）を終え、ホッとしていることと思います。しかし、先生には心配なことがあります。先生の担当の理科のテストのことですが、やはり、点数を採り切れなかった人が多く見かけられました。今までの調子なら、もっと点数をとれていたのに……。

どこが間違っていたのか、しっかりと振り返りをして、同じような間違いをしないように、次につなげてほしいと思います。

さて、今週の27日（木）、28日（金）の2日間、面接練習を行います。みなさんが受験（受検）する高校では、個人面接のところもあるのですが、時間的なことから、すべてグループ面接で行いたいと思います。ひとグループは、4人～6人ぐらいのグループになっています。だいたい、第1希望の高校が同じ人、または、同じようなジャンルの高校を希望している人でグループとなっています。なので、ほかの人がどのような答えをするのかを参考にすることも大切です。このプリントの裏面に、採点の用紙をつけました。当日はもう一度新しいプリントを配ります。それに、名前と志望校を書いて、面接会場に向かってください。そこで、10分間の面接が行われます。その後、もう一度面接会場に入って、面接試験の講評を面接官の先生から行ってもらいます。不十分だった人は、それを聞いて、本番までまたしっかりと練習してほしいと思います。



先週で、公立の前期選抜願書の点検が終わりました。気になったのは、「住所及び氏名の記入については、住民基本台帳等のおりを基本とし、楷書で正確に記入すること」となっているところの、不完全なところが多くあったことです。例えば、マンション、またはアパートの名前がぬけていたこと。「番地」が抜けていたり、「町」が抜けていたり、していました。あまり、住所を書くことがないのかもしれませんが、自分の住んでいる住所はちゃんと覚えておきましょう。また、志願者と保護者の住所が同じ場合は保護者の住所欄に「志願者に同じ」と書くところを「志願者と同じ」になっている人が数人いました。ちゃんと注意しないといけないところは、注意してください。

また、たくさんの担任の先生が言っておられたのが、「下書きではちゃんとなっていたのに、間違っている」というものでした。下書きの鉛筆書きのところを、すべて消してから書いている人に、間違いが多くありました。下書きは鉛筆なので、その上から、ボールペンで本書きをして、ボールペンが乾いてから、消しゴムで消せば、間違いはないはずです。次回、公立の中期選抜の願書を書くことがある場合は、ぜひそのようにしてください。